

令和6年度 第2回富士宮市文化財保存活用地域計画策定協議会

議 事 要 録

日 時	令和7年1月27日(月) 13時30分～16時00分
場 所	富士宮市役所 610 会議室
出席者	〔委員〕 小笠原永隆委員、西田かほる委員、小西英磨委員、石田寛二委員、角入一典委員、井出泰弘委員、村松悦雄委員、中山實委員、高柳洋子委員、諸星桜委員、斎藤愛委員、望月千尋委員 〔静岡県〕 静岡県文化財課文化財地域支援班 班長 菊池吉修 〔富士宮市〕 教育委員会 教育部長 石川佳和 文化課学術文化財係 課長 中野香織、係長 渡邊俊太、主幹 深澤哲治、学芸員 高橋菜月、保竹貴幸、松本将太、原悠翔、柿崎沙織、三上能 企画部企画戦略課 課長 佐野和也 〔委託業者〕 株式会社フジヤマ 長谷川、白鳥
議 題	(1) アンケート調査について (2) 計画案の内容確認 (3) 今後のスケジュール
内 容	
<b>開会（高橋）</b>	
高橋（事務局）	ただいまより、令和6年度 第2回富士宮市文化財保存活用地域計画策定協議会を開催する。本日は今年度から地域計画の計画書編集を委託している株式会社フジヤマ様が同席しているため紹介する。次に、石川教育部長よりご挨拶申し上げます。
<b>挨拶（石川教育部長）</b>	
石川教育部長	本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。日頃より皆様には、文化財保護あるいは文化財行政全般につきましてそれぞれの立場で、また地域でご協力を賜り感謝申し上げます。これまで頂いたご意見や文化庁からの指摘事項、市役所、庁内での検討を踏まえ、修正案をご提示させていただきます。ぜひご忌憚のないご意見とご助言を賜ればと思います。本日はよろしく願いいたします。
高橋（事務局）	続いて小笠原会長よりご挨拶申し上げます。
<b>挨拶（小笠原会長）</b>	
小笠原会長	今回は第2回目の協議会であり、2月には今日議論した内容を文化庁に提示する。節目の会議になるため、忌憚のないご意見を賜ればと思います。
<b>(1) アンケート調査について</b> <span style="float: right;"><b>進行：小笠原会長</b> <b>説明：渡邊</b></span>	
小笠原会長	事務局から報告を。
渡邊（事務局）	(アンケート調査の結果を報告)
小笠原会長	お気づきの点はあるか。
角入委員	子どもが学ぶ機会を確保するという意見が多い。観光よりも子どもに地域の歴史文化を伝え、地域に愛着を持ってもらうことが大事。
望月委員	子どもが学ぶ機会の提供とはどのような機会か。学校ではそういった活動を行っていると思う。地域の人にとっては、どんと焼きなどの祭りに参加するなど、小さい範囲で参加し、文化に触れる機会があれば良い。

小笠原会長	アンケートの回答は確かに数が多い方が重要であるが、少数派の意見の中には、よく認知されていないために数が少ないというものがある。そうした意見も検討する必要がある。
諸星委員	子ども達への周知は、富士山学習を小中学校で行っている。来年からコミュニティスクールが始まるため、コミュニティと学校が連携すれば良い。働く世代も関与してほしいため、計画の中で工夫が必要。
斎藤委員	学ぶ機会として、富士宮では公民館・区民館でお祭りを行っている。祭りとうまく連動するのはどうか。また、観光などの活用の中で、祭りの後に片づけを行うなどの節度を守るよう促すのも重要。
中山委員	アンケートの結果に対する答えはないのか。例えば保存管理にお金がかかるとあるが、市民にはわからない。回答することが市民の信頼につながる。
渡邊（事務局）	事務局で考えて、計画の中に取り入れる。
<b>(2) 計画案の内容確認</b>	
<b>進行：小笠原会長 説明：渡邊</b>	
小笠原会長	事務局より計画案の説明を。
渡邊（事務局）	（計画案序章について説明）
小笠原会長	序章は必ず計画の位置付けを書くもの。何かご意見はあるか。
望月委員	序-6 の関連計画に富士山世界遺産のまちづくり整備基本構想があるが、地域計画と齟齬がある。構想では浅間大社付近の民家が移動され緑地化されている。地域文化の断裂につながるのではないかと。生活の景観を地域計画において文化的景観に準ずるものとして認められないか。また、意図的な庭園は、地域とのつながりを断つもの。SDGsとも矛盾するのではないかと。
小笠原会長	地域計画の本質とは異なるが、可能な範囲で回答を。
渡邊（事務局）	文化課は、浅間大社の整備計画を含めたまちづくりをしてきたいと考えている。町は変遷するもの。残されている歴史文化を守りながら、まちづくりに繋げていきたい。
渡邊（事務局）	（計画案第1章について説明）
小笠原会長	市史を凝縮してまとめている。記載について何かご意見はあるか。
角入委員	近現代の項で、明治から富士山の世界文化遺産登録までの記載がないのはどうか。
高橋（事務局）	現状では、戦後までの記載であるため検討したい。
菊池委員	他市町村の計画だと平成まで書いているところがある。
小笠原会長	富士山の世界文化遺産登録までの記載は欲しい。
西田委員	富士宮市の気候は、標高差、地形差があり多様性があることが特徴。はじめに地域差など大きいものに触れてから概観に触れた方が良い。
高橋（事務局）	計画の構成は検討させていただく。
渡邊（事務局）	（計画案第2章について説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。
小西委員	2-2 の5番の所在地は所有者のものになっている。3番は静岡市になっている。
高橋（事務局）	表現を統一する。

中山委員	2-20 の構成文化財の中で、⑨のストーリー中の文字が異なっている。
高橋（事務局）	修正する。
小笠原会長	未指定文化財の表を計画案に掲載するのか。
高橋（事務局）	ある程度まとまっているが、お見せするほどの完成度ではない。
西田委員	未指定文化財の紹介は淡白だが、地域計画で最も市民に知ってもらいたいもの。他の市町では文化財の規定に未指定文化財を取り込むと書いてあるが、本計画でも未指定文化財の説明を加えていただきたい。
小笠原会長	未指定文化財は文化庁も積極的に盛り込むよう指導しているが、どうか。
菊池委員	序-13 の文化財の定義に、法律や条例に定義されるものではないという記載があると良い。
小笠原会長	未指定だから重要ではないという意味ではないため、未指定文化財の記載の仕方を考えていただきたい。
中山委員	2-3 に市の指定文化財が 43 件とあるが、数字の打ち間違いがある。総件数は 41 件とある。加えて古文書が省かれている理由は何か。
高橋（事務局）	数字の修正ができていない。2 件が合わせて県指定文化財の 13 番になったため、市の指定が解除された。市の指定文化財は 41 件とご理解いただきたい。
渡邊（事務局）	（計画案第 3 章について説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。大鹿窪遺跡は、溶岩が流れたところに富士山を眺める形で遺跡があるため、3-1 に記載しても良いのでは。
渡邊（事務局）	（計画案第 4 章について説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。4-13 の下から 7 行目、「遺跡については戦争関連の遺跡について」という表現を修正。戦争遺跡をもう少し具体的に、時代が特定できる形で書いた方が良い。
中山委員	ボランティアの会が富士山唱歌を広報に出している。良いものであるため、4 章に入れられないか。
高橋（事務局）	文化的所産として、未指定文化財リストに入れたい。
菊池委員	4 章ではなく、2 章の文化的所産で、眺望に続いて「富士宮市には富士山唱歌も残っています」と記載するのが良い。
望月委員	富士金山は山梨県側では金山博物館を中心に紹介されている。富士宮市側のアプローチが見えてこない。また、他市、他県に富士宮市出身の方の芸術家の方がいる場合、その方や作品の位置づけはどのようになるか。
高橋（事務局）	作者はリストに取り上げるかもしれない。作品は市外にあるものが多いため、リストからは外れる。
〇〇（事務局）	富士金山は市史で一部触れている。資料が少ないため、本計画には「調査はこれから行う」旨を記載する。
中野（事務局）	竹川家文書は未指定文化財リストに掲載している。
高橋（事務局）	富士金山に関する民話や伝承があればリストに掲載する。
〇〇（事務局）	富士金山のデータは身延に多くあるため、今後調査する。
齊藤委員	富士金山も久能山までとは言わないが、倣えたらと思う。
高橋（事務局）	麓では見学ツアーを実施している。文化財の周遊と連携できるよう拾い上げていきたい。
齊藤委員	文化財に指定されると困ることはあるか。

高橋（事務局）	所有者が指定を希望しない場合は難しい。未指定文化財として認知し、守っていき たい。
齊藤委員	動植物の写真や動画は今後増えていくと思うため、計画に記載して守ってもらいた い。
小笠原会長	積極的に写真や動画を収集し保管することを課題として、本計画に記載するのが良 いか。
渡邊（事務局）	（計画案第5章について説明）
小笠原会長	計画の肝となる章だが、何か意見はあるか。
西田委員	「富士山とともに生きてきた」という文言が多く見られる。文化庁の指示か。個人 的には多い。表現も漠然としている。
高橋（事務局）	将来像とつながりが見えにくい、と指摘があったため記載した。
諸星委員	「富士山とともに生きる」という言葉が多いため、基本方針を4つに分ける必要 性が失われてしまうのではないか。
小笠原会長	細かいことだが、富士山とともにの「ともに」の表記が揺れている。統一した方が 良い。
高橋（事務局）	基本方針は簡潔にわかりやすく修正する。
菊池委員	計画が認定され報道発表されたときにまず出るのが、将来像と基本方針である。簡 潔にするとわかりやすい。
角入委員	個人的には、富士山で生活している、世界文化遺産に生きている、という感覚があ る。
菊池委員	将来像と基本方針を図に整理すると、課題が見えてくる。図化のパターンは大まか に基本方針がパラレルになるか、重なり合うかのどちらかになる。
村松委員	第3章の歴史文化の特性で道と交流とあるが、第5章には道の文化は言及されてい ない。
渡邊（事務局）	いずれにしても検討する。
菊池委員	文言をAIに考えさせた事例もある。
渡邊（事務局）	（計画案第6章について説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。
齊藤委員	6-4の文化財のデジタル化は防災に関わる。文化財の経年変化を追えると、修復し やすい。措置21の登録制度は、難易度を富士登山の合目に準えて工夫できたら良い。 6-6の措置35、37、44については、公民館で展示するだけでなく、区民や市民が自 らの歴史文化を説明するのはどうか。6-7のイベントの開催は、イベントが重複しや すい期間があるため、調節する中枢が欲しい。食のまちづくり市推進事業は、活用を 図って守るという意味か。情報の集約化が不十分。
渡邊（事務局）	実際に進捗管理していくなかで、生かしていきたい。イベントのスケジュール調整 は意識していきたい。
小笠原会長	地域計画は長期計画だが、短期計画は、イベントの調整をアクションプランとする と良い。
西田委員	表形式でわかりやすいが、市民は積極的に関わるのか。市民の丸はどのような表現 か。
高橋（事務局）	○○△で関わり方の濃淡を表現したいが、模索している。
諸星委員	市民にあえて丸をつける意味はあるか。強制していると感じる可能性もあるため、 関連団体が行っていることを周知、呼びかければ良いのではないか。
石田委員	アンケート調査でもあったが、前向きな市民に協力してもらおうのが良いか。

望月委員	41 番に富士山を見ながら自転車で回遊すること加えてはどうか。国や県が丸になると良い。世界遺産センターには歴史に興味がある人がいるため、ボランティアとの連携も表に入れてほしい。
菊池委員	近世街道という富士山はモデルケースになっている。国交省が推奨しているため、その他の制度で風景街道を入れても良いのではないかな。
小笠原会長	市民参画が基本。行政は市民と市民をつなげる役割がある。
高橋（事務局）	文化財オータムフェアでまとめて発信している。市民から情報提供して頂いて、印刷物として周知する。
小笠原会長	マネジメントをして、有機的なイベント結合体ができれば良い。
菊池委員	齊藤委員がお話した登録制度は、ボトムアップ型の取組であり、市民の間で広がると思うため、面白いと思った。
渡邊（事務局）	（計画案第7章について説明）
入角委員	ふじさんの湧水と産業に、北山用水は入ってないのか。
高橋（事務局）	近世に位置付けているため入らない。
小笠原会長	構成資産とストーリーを示す図があると良い。
齊藤委員	駿河半紙の生産は、後藤清吉郎さんの関与があったと思うがいかがか。
〇〇（事務局）	金唐草紙への関与が主体的であり、駿河半紙への関与は薄かったと判断している。
菊池委員	関連文化財群で、行いたい事業があるかわからない。特定の事業を行いたいことが分かれば良い。
高橋（事務局）	水力発電と産業の広報を行いたい。村山は巡礼路調査での調査と発信を行いたい。今回の静岡遺産もそうだが、重点的に行うことで、身近になぜ水力発電があるのかを周知したい。
渡邊（事務局）	（計画案第8章について説明）
小笠原会長	何か意見はあるか。
齊藤委員	8-5 の基本方針4 の魅力を活かすに関わる課題と方針は、区域内を一気に回らせるのではなく、例えば何泊かを前提とするなど、旅行者の計画の初期段階となると良い。8-6 の 27 無形民俗文化財の継続支援は途切れても復活できる密度でできるよう、多角的な支援が必要。
高橋（事務局）	無形民俗文化財は準備から記録できるようにしたい。観光基本計画に滞在型になっていないと課題にあるため、それを踏まえて方針を書き換えていきたい。
小笠原会長	リピーターになってもらうことが基本である。街中も回遊できるようにできたら良い。
中山委員	8-6 の基本方針3 の 43 番、パンフレットの作成は、英語版でわかりやすいものを作ってほしい。説明板も英語対応にしてほしい。
小笠原会長	加えてスマホで閲覧できるようにして欲しい。
渡邊（事務局）	（計画案第9章について説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。ハザードマップを出すだけではなく、どの文化財保存活用施設にハザードマップがあるか、わかりやすくした方が良い。
諸星委員	パンフレットに付近の避難施設を記載したら良いかと思う。
西田委員	指定文化財リストが措置にあるので、それをどこかに入れていただきたい。

望月委員	防犯ですと、盗まれてしまうのでそういった祭りをやっているが、大事なものをとっておきたいということあるため、気にした方が良い。
高橋（事務局）	非公開情報というものもある
渡邊（事務局）	（計画案第10章について説明）
小笠原会長	何か意見はあるか。
齊藤委員	都市整備部道路課の無電柱化は、唐突ではないか。計画で触れたほうが良い。
渡邊（事務局）	直接的には明記していないが、景観という点で記載した。
小笠原会長	まちづくりの関係で、歩行者の安全確保のためという観点で入れたら良いか。
石田委員	感想にはなるが、今回の会議で勉強させていただいた。
角入委員	主体とあると市民がやるのかとなるが、措置表に推進体制と書くと、行政も市民も含めてという意味で良いのでは。
小笠原会長	その他全体を通じて何かご意見はあるか
望月委員	AI対応できるアプリを作ってもらえたら良い。
<b>（3）今後のスケジュール</b>	
<b>進行：小笠原会長 説明：渡邊</b>	
渡邊（事務局）	（今後のスケジュールについて説明）
小笠原会長	何かご意見はあるか。無いようであれば、以上で議事を終了する。
<b>閉会（高橋）</b>	
高橋（事務局）	貴重なご意見ありがとうございました。意見を反映し、2月の文化庁協議に素案を提出する。次回の協議会は6月開催予定。 以上で閉会します。ありがとうございました。

以上